

同志会新聞



桜花見

花見大好き

小倉 洋子

二月十八日、新春ボーリング大会を行い、皆さんと親

睦を深める良い機会となりました。又、出入りの業者の方々に多くの御協賛を頂き、参加された皆さんに大変喜んでいただきました。一同に会して事をするとなると、なかなか、日時等難

しかし、「哲ちゃん」のいなくなつた庭の桜は次の春から見事な花をつけ、枝をのびし「この桜が目に入らぬか」とばかり、大木になつた。満開の桜を自慢しながら、友達と酒を飲みたくて「哲

そろそろ、花見の季節、花見と言えば『桜』我が家にも桜の木があり、社員や友人達と花見をするのが恒例ですが、この桜の木は、二十年前に『哲ちゃん』が、四年生の苗木を植え育てたものである。毎年、まだか、まだかと花見の出来るのを待ちわびたが、なかなか咲いてくれず、それでも『哲ちゃん』は十〜二十輪ほどの花の下で、毎春酒を飲み、桜を愛でた。

しい問題もありますが、最後に楽しかったー参加してよかったと云つて頂けると、とても嬉しい！ 次の大会には、運送関係等、出入りの業者の方々も交えて、広い交流を深めたいと思つていきます。

発行者 都城園芸花市場 生産者同志会
第4号
発行日 H18. 3. 28
編集者 原田修作

ちゃん」が咲かせていると私は思っている。満開の桜も、ハラハラと散りゆく桜も見事であることは云うまでも無い。桜にはたくさん種類のがあるが、一番知られている吉野桜や、生け花に使われ市場に出る敬翁桜、ロトー桜、寒緋桜等、三百種はあると云われる。

その中に薄墨桜と云つて、昔のうち薄紅で、気品に富、開花と共に得意の薄墨色に変わる桜がある。多くは、天然記念物に指定されるなど、樹姿に品位があり、薄墨色と合わせて絶賛されているらしい。薄墨と云えば、水墨画に使われる薄墨もある。墨をもつ生物も居る。「イカ」私は好きである。イカ墨も、イカ墨、スタ等食材に使われ又、西洋では、インクや絵の具として使用された時代もあったらしい。

その意味から薄墨を使うのだそう。桜の話から、だいぶずれたが、今春も職員達とそして『哲ちゃん』と酒を飲む！

よく色褪せた茶色等、セピア色と言うのが、『セピア』の本来の意味は「イカ墨」で時間と共に薄茶色になる「イカ墨インク」が語源らしい。ついでにもう一つ、おくやみ香典等の表書きは『涙でにじんで薄くなった』『急なことで墨を磨るひまもなく、飛んで参りました』等

サンユー	西日本宇佐美	JA都城
宮崎太陽銀行	宮崎県鉢物組合	クロネコヤマト
南九州日野自動車	山崎鉦油	カーフラワー
国際空輸	宮崎トヨタ	サンA
日通航空	宮崎中央花き	花美運送
イトキュー	ベストパッケージ	アートエ芸

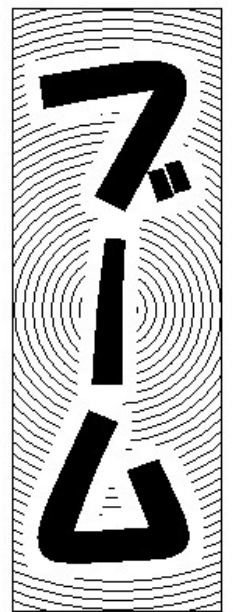
新春ボーリング大会協賛商社名



新春ボーリング大会懇親会



第1回 新春ボーリング大会
都城ハイレーンズ 参加者60名
平成18年2月18日



私は大好き黒霧島



霧島酒造工場建設現場
写真のような建物が3棟建設中

市場前の道路を挟んだ奥に、霧島酒造の霧の蔵ブルワリーがあるが、リゾートブームの中、地ビールを売り物に建設された施設である。焼酎工場内にあり、見学施設等も併設されており中々の賑わいをみせておるところであります。

その施設の臨時駐車場として使われていた、空き地に

とてつもなくでかい建物が建設中であります。ビルで言ったら六階建て以上の建物で、現在屋根工事も終わっているようです。

ここ数年の焼酎ブーム、特に黒霧島の人気が焼酎不足がおき、昨年、一昨年は地元でも焼酎が買えない状況が続き、工場の増設を何回かされたが、それでも足りないようで(うらやましい限り) ついに新工場の建設となったようです。

以前は、南九州以外のところに出張すると、焼酎が飲めなくて、さびしい思いをしたのですが、近年はどこに行っても、芋、麦、蕎麦と胸を張って焼酎のオーダーができ、焼酎好きの私にとっては大変好ましい環境であります。

焼酎工場と言えば、小さな酒蔵で家内工業的に製造され、地元の皆さんに愛飲されるものでした。NHKの朝ドラでも取り上げられたように地元を根ざして作り続けられる地場消費の商

品が、飛躍するきっかけは、TV放送、メディアの力はすごいですね。

年前のTV番組でマイナスイオンを出す植物として紹介された、サンセベリア、このブームもすごかったです。南の市場という条件からでしょう、東京の消費者から問い合わせがあったぐらいいです。寒さに非常に弱い商品ですが、一月二月の寒い中飛ぶように売れていました。(空を飛ぶにはチヨツと重いですが)

その次にマイナスイオンでブームとまではならなかったものの引合が出てきたのが、アレカヤシ。今もサンセベリア出荷されておりますが、普段の取引単価と落ちておりあります。(今もマイナスイオンは出しつつづけております)

それから、アロエのブームもありました。昔から医者要らずと言われるくらいアロエの愛好家はいいたのですが、TVで放映されると愛好家が爆発的に増えるようになります。やはり今は静かになっています。

花の業界でブームと言えば、やはりガーデニングブームでしょう。今やや下火となつてはいるようですが、現在も着実な歩み、市民権は確立されたのでしよう。

イングリッシュガーデン等の本の影響から始まったといわれるガーデニングブー



現在もマイナスイオン発生中

ム、建物の洋風化、花博覧会が全国各地で開催された段と拍車がかかっていったのですが、ガーデニングそのものが円熟期を迎えているのだらうなと思うところ

**飲んだら乗るな
乗るなら飲むな**



長崎県 三浦園芸
リガースベゴニア

現代社会が一番求めているものそれは、癒しだと言われております。その癒しにつながるものは、やはり花ではないでしょうか。昨年からは現在も静かなブームになっているのが和物です。もともと古来からあった日本の文化改めて見直されたのでしようか。

淑やかに 麗しく

都城園芸花市場 総務



総務美人3人集

小倉裕美

大村里美

中村侑加

淑やかに

「しとやか」言葉・動作の落ち着いて上品なさま。おだやかでたしなみの深い。

麗しく

「うるわしく」精神的に豊で気高く、人に感銘を与える。

十八年度目標

確実に、敏速に伝票処理を行い、皆様に安心いただける、事務処理を今後も続けます。

ご不振な点がありましたら、ご遠慮なくお電話ください。

花婿募集

お問い合わせは花市場原田まで



松山真也

末吉高校卒業 年齢 十八歳
都城市梅北町出身
趣味はスポーツ 特にサッカーが好きです。

宮元由紀美

年齢は？歳です。現在独身。都城市山田町在住



新入社員三人集

松山真也

宮元由紀美

新留央子

第二営業課で集配業務を中心に仕事をしております。趣味は寝る事。暇さえあれば寝ています。

彼氏募集中

新留央子

都城農業高校卒業 年齢 十八歳
北諸県郡三股町出身
趣味は特にありませんが、バスケットボールが好きです。

仕事に対する抱負は、一日も早く仕事を覚えて、頑張ります。

編集後記

四月一日当社の花見ですが、このままだと葉桜の予感。

同志会新聞も第四号の発行となります。紙面にもご紹介しましたように、新入社員も元気で頑張っておりますが、皆様方のご期待にこたえられる社員と育ててくれることを願っております。

平成十七年度を振り返ると、なんとと言っても原油高に伴う燃料の高騰、中でも重油の値上がりは深刻な問題となって、出荷物にも影響を与えた。

経費が上がる、商品単価に値上がりの反応はなく隔靴搔痒の感であります。第二次オイルショック時に、ハウスの三重張りとか、暖房機の省エネタイプとかありました。

今後オイルショック時より長期に値上がり状況が続くことは、現状を見る限り明らかであります。

本格的な施設、商品性豊かな低温開花の品種の導入等を含めた、省エネ対策が必要のようです。

次回母の日明けの五月発行の予定です。記事等ご希望のある方はご一報ください。

三月商戦

卒業式需要

平成十八年三月、三月と云うと切花市が賑いを見せる月であります。

三月始めに高校の卒業式、

中旬に中学校の卒業式、彼岸の入り、下旬には小学校、保育園幼稚園の卒業卒園式、と花の消費のピークを迎える時期であります。

花の種類も一年のうちで一番多い取引となり、洋花、球根、菊類とあらゆる品目の花が活発に取引される月である。

ところが、ここ数年の三月の取引状況がやや変化してきました。

まず、卒業式と花の関係であるが、数年前から、子供達の中で、プレゼントとしての花束をもらう子供と、もらわない子供がいて、教育上好ましくないとの配慮から、学校による禁止令が出され、小さな花束の注文量が減少してきたようである。

P.T.A.、父母の会からの注文は今年も少量ではあるが

入ってきていたようだが、以前のような花束需要は減少傾向にある。

この現象について、日本フラワーマーケティング協会の小川孔輔会長は三月十八日のコラムの中で、「去年今年の卒業式などを見て

いると、私の大学などでは、卒業生が下級生からお花をもらっているが、それが『青花』だったり、近所でもわりのセンスのよい花屋さんのものであったりしている。そうした花束は決して高くない。・・・

『かわいい』『癒される』と言った消費ニーズに合わせ、買わせる提案が花や園芸にも必要となりそうだ。」と記載されていた。

今日は三月二十七日月曜日、卒業式も終盤に入っているが、先週からチューリップ、スイトピー等の小花が小学校、幼稚園、保育園向けによく動いた。これ

からいよいよ、離任式に向けての商戦で、バラ、オリエンタル百合系の大型の花が引合が予想される。

本日の取引の中で、都城地域が、二十九日木曜日に離任式が実施されるため、現在注文の入っている分の花束材料の仕入を、何軒かの花屋さんが起こされた。

都城市内の平均的な花屋さんの例で云いますと、その仕入内容は、オリエンタル百合(シベリア、カサブランカ、ソルボンヌ)等を各十本程度、アルストロメリア、スプレー系ストック、カラー、バラ(赤、ピンク、黄、スプレーバラ)ピンク、紫、赤紫、チューリップ二色等々の仕入を起こされた。仕入の担当の方と話したところ、先週の金曜日では早すぎる、水曜日では花が開いてないとの事で、本日の仕入となったとの事でした。Webでの仕入と、競り買いとで本日の仕入となったようです。

結果、本日の取引は、球根、草花、バラ、カーネ等引合強く堅調市況となった。

鉢物の胡蝶蘭の注文等も徐々に入りつつあり、期待が持てる場所である。



春彼岸需要

三月商戦の最大の取引となるのが、彼岸需要であります。

本年の彼岸は、十八日土曜日が彼岸の入り、中日が火曜日と花屋さんにとって、商売のピークが読めない形での日周りで、仕入の数を若干控える花屋さんも見られた。

結果は、十九日の日曜日が好天に恵まれ、小売段階での販売のピークとなったようである。

彼岸商戦の中心は、菊類が取引の中心となるが、本年の菊類の入荷状況は、白菊は2L規格がほとんどとなり、仏花様にはやや大きすぎるため、セリ始めの2L規格は静かなセリで、後半M規格品になると、一転賑やかなセリとなる状況が続いた。

先日の農業新聞にも、関東の市場での状況が記載されていたが、同様の状況での入荷となったようである。結果、中国産の入荷量が過去最高の状況となったとの報道がなされていたが、花屋さんにとっては、中国産は咲かないイメージが強く、2L規格での東加工に苦戦したとの報道でした。

都城への入荷産地の状況を推察すると、一月二月の低温と、重油の値上がりから花分化時の温度不足により、開花が遅れ生育期間が長くなったため、2L規格の商品が多くなったものと考えられます。

彼岸、お盆等の物日には国産の白菊Mサイズの商品が必要とされており、品種も含め安定した商品供給体制確保が急務となってきたようです。

黄菊も2L規格の入荷が多くなっていたが、入荷総数が少なく高値での取引となった。小菊、スプレー菊共に潤沢な入荷なり平凡な単価での取引となった。沖縄産の小菊が、やや前進開花となったことが、大きな要因であろうと推測しております。

ここ数年の彼岸商戦の動きの中で、仏花と云えども、和花から洋花へと消費者の志向が変わってきているようである。スターチス等が活発に取引された。

彼岸商戦自体は昔ほどの賑わいはなくなってきた。原因として考えられるのが、量販店、スーパー等の花の販売が定着し、花屋さんに彼岸用の花を買いに行かなくなっていることが、一因であると考えられます。

都城市内にある、某パッキング工場は今彼岸も残業、残業の日日であったと聞いております。当社取引の、パッキング工場も年々取引の本数が増え、スーパーストアの店頭の花の販売躍進は目を見張る結果となっております。

もう一つの要因は、世代の交代、今まで墓を守り、先祖を敬ってきた人たちが、いまや先祖の一人となってしまう、新しい世代が現在は消費者となった点では無いかと考えられます。その結果が、和花から洋花への変化として現れてきております。

当社も、スーパー販売向けのパッキングの花屋さんとの取引の充実を図りながら、あらゆる方面での花の販売に前進中であり、

彼岸需要とは直接の関係はありませんが、鉢物の動きが例年に比較して早い様です。苗物は、相次ぐ晩霜の影響から動き鈍いものの、鉢物は土日の好天続きから動きよくなっており、今後苗物のシーズンに移行するのに好材料となっております。